

洋書輸入協会会報

VOL. 3

NO. 12

(通巻32号) 昭和44年12月

理事会報告

11月26日(水)

(一) 通関委員会報告。

11月25日開催の、東京外郵通関協議会創立総会及び懇談会についての状況報告。

(二) 雑誌資料委員会報告。

関西支部雑誌合同カタログ出来上り。

(三) ドイツ・マルク問題報告。

雑誌の値上り説明資料収集に苦慮中。経営委員会で経費率の上昇を始めとする経営資料を平素より収集整備しておくべきであろうとの意見が出る。

(四) 11月26日朝日新聞朝刊記事、「関税定率法は憲法違反、洋書輸入業者が訴訟」の件につき討議。結論出ず。

(五) 文化厚生委員会報告。

新年の懇親会開催の件。

(六) Air Cargo 問題、Local Stock 問題、Computer 導入問題等討議。

1970年代には、洋書輸入業界においても流通過程に変化が起るであろうという観測については意見一致。

関西支部だより

11月20日(木) 協同カタログ完成。

白表紙共用版を若干部作製、数社より申込あり。

11月24日(月) 英国視察団来阪。

代表者と支部長懇談。

通関委員会報告

東京外郵通関協議会設立について

かねて、東京税関東京外郵出張所にて、税関と業者の連絡機関設立の準備が進められ、当洋書輸入協会も世話人として協力してまいりましたが、去る11月25日に「東京外郵

通関協議会」として設立総会及び懇談会が、東京外郵出張所関所長、久代管理課長、結城審査官、鈴木副審査官、山崎事務官、羽田外郵出張所鈴木審査官及び各業者出席のもとに新大手町ビルにて催され正式に発足いたしました。当洋書輸入協会は、通関委員会が幹事として協議会の運営に協力することになりましたのでお知らせいたします。

通関協議会設立の目的は、外郵通関業務の円滑をはかることにあり、具体的には通関手続きに関する法令通達などの改正及び指示事項の周知徹底、通関実務についての意見の交換及び実施、通関実務担当者の相互理解を深めることなどで、このたび組織的連絡の場が設立されたことは非常に有意義でありますので、洋書輸入協会々員各位の御協力をお願いする次第です。

なお、東京外郵通関協議会々員数、役員、会費は下記の通りです。

会 長 山 形 三 郎 氏

(海外新聞普及顧問)

副 会 長 吉 田 実 氏

(極東貿易(株)運輸部副部長)

会 計 吉 田 実 氏 兼任

幹 事 服 部 貿 易 (株)

ジャパン マシナリー(株)

兼 松 江 商 (株)

(株) 御 木 本 真 珠 店

日 本 写 真 機 工 業 会

東 洋 綿 花 (株)

洋 書 輸 入 協 会

プ ラ ザ ー ラ イ ト (株)

ハドソントレーディング(株)

会 員 数 70 (会社及び団体) 口 数 80

会 費 一口 年 額 2,400円

(洋書輸入協会は5口にて加入いたしました。)

(丸善・柴田記)

英国出版業代表团来日

洋書輸入協会理事と懇談会を開催

11月14日より29日まで、Book Development Council, Mission to Japan のメンバーが、事務局の Phillips 氏共11名で来日し、11月17日に日本出版クラブにおいて、洋書輸入協会理事と懇談会を開催した。

席上先ず協会理事長代理、丸善中田氏と、訪日代表团長の Timmerman 氏との挨拶があり、夫々自己紹介の後用意された議題によって討議に入った。

(1) Book shipment

理事会：昨年シベリヤ経由発送の検討をお願いしていたが、結果はどうであったか。

代表团：自分達が調査した所では、シベリヤ経由の方は、貨車でスイスへ運び積み替えを行わねばならず、かえって長くかかり紛失の可能性もある。

結論：Penguin社において、試験的に紀伊国屋・洋販に対してシベリヤ経由発送を試みることとする。

〔附〕インボイスの問題

理事会：インボイスのサイズを統一して貰えないか。

代表团：寧ろ日本からのオーダーのサイズを統一して欲しい。インボイスの方は、コンピューターが逐次導入されつつあるので此の面からも統一されてくるであろう。同時に、オーダー記載面においても、大幅な省略が可能であろう。

理事会：インボイスは、オリジナル共3通をAir Mailで送り、現品には1通添えて貰いたい。

(2) Information

理事会：英国は、米国に較べると Information が遅いように思われる。

代表团：英国の場合は、出版の6～9ヶ月以前にアナウンスすることを基準としている。Elek社では、一年前を目標にしている。然し、あまり前に出すと、内容変更、価格変更等の可能性が高くなり、反って迷惑を掛けるのではないか。

又アナウンスの形式はサーキュラー形式と、小冊子形式とカード形式のどれが一番良いか。

理事会：アナウンスは、6～12ヶ月前でよろしい。値

段は概価で結構。アナウンスの形式は、日本側の態勢が統一されていないので、どれでも良いが、一番早いものを望む。尚、米国の Bowker 社から Bimonthly で Forthcoming Bookのカタログが発行されている。参考とされたい。

代表团：米国 original の本の場合は、英国の方は、約3ヶ月遅れてアナウンスされている。日本の場合之等に対する order はどうしているのか。

理事会：米国 original で英国版の安いものが出る場合は、Sales Territory を明示して貰いたいことと、出来るだけ早くアナウンスして貰うことを希望する。又此のような場合の我々の order は、first order は米国へ追加 orderは英国へ出すのが普通である。

理事会：我々の注文書に対して、送附出来ないものは、その全部について理由をしらせて欲しい。

代表团：Computer の場合は全部打ち込まれる。

理事会：Computer 以外の場合でも、全部書き込むよう努力して貰いたい。

代表团：注文書を duplicate で送って貰えれば、一部に記入して送り返すことが出来る。

(3) JBIA book selection and promotion procedures

代表团：日本の場合は、どのような形で order のタイトルの selection をやっているのか。

理事会：受注の分と見計らいの分と両方ある。

代表团：見計らいの分の selection は自社のスタッフでやるのか、それとも顧問団を持っているのか。

理事会：各社によって違う。

代表团：P.R.の方法は？

理事会：ダイレクト・メール、外売での持ち歩き等夫々の社で工夫している。

代表团：日本の外売が充実していることに感心している。是非英国でも指導して貰いたい。尚日本の場合は、サーキュラーで案内しているのか、それとも現物で案内しているのか。

理事会：双方である。

……尚外売に関する代表団よりの質疑及び理事会側の
応答が続いたが省略。

(4) Relationship between importers in Tokyo and
those outside Tokyo

理事会より現況を説明。

(5) Selling through the non-English language
outlets

理事会現状を説明。

……non-English language とは、日本の本の由。

(6) Local stock-holding-feasibility and desirability
of more

(7) Possibility of supply from elsewhere (Hong
Kong, Australia)

理事会：(6)については、我々が take care している
ので、これ以上日本に local stock を持つ必要はない。

尚、香港に stock しても、日本の需要の質と、香港の
需要の質とが違うので、反って面倒になるばかりであろ
う。濠州については遠過ぎて問題にならない。

……local stock とは、日本における stock の意味の
由。

殊にシベリヤ経由が活用され、早く日本の業者が入手
出来るようになれば、益々 local stock の必要性は少な
くなるであろう。

(8) Mechanics of ordering and buying from Britain

理事会：我々の order は溜めないで、面倒でもその都
度送り出して貰いたい。

代表団：此の問題については、代表団の間でも種々討
議したが、此のグループは良いサンプルで、大体24時間
で注文を処理し、遅くとも10日以内に発送している。更
に皆にも良く伝えておこう。

尚、理事会側より J B I A メンバーに対し、discount

を更に良くして貰いたい旨の要望を行った後、渉外委員
長山川氏及び代表団長 Timmermans 氏のむすびの挨拶
を交換して午後5時懇談会を終了。

尚、同日の懇談会における代表団のメンバーは下記の
通り。

英国出版業訪日代表団メンバー

Mr. L. M. H. Timmermans, Director,
Univerisity of London Press Ltd.

Mr. Charles Black,
A & C Black Ltd.

Mr. Eric Dalton, Overseas Development
Manager, Evans Brothers Limited

Mr. C. Dolley, Joint Managing Director,
Penguin Books

Miss B. MacLennan, Foreign Rights Director,
Goeorge Weidenfeld & Nicolson Ltd.

Mr. K. MacLennan, Export Manager,
Butterworth (University Books Distributor)

Mr. Charles Pick, Managing Director,
William Heinemann Ltd.

Mr. Per Saugman, Managing Director,
Blackwell Scientific Publications Ltd.

Mr. J. Spragg, Overseas Marketing Diretor,
Associated Book Publishers (International) Ltd.

Mr. John Taylor, Publishing, Manager,
Lund Humphries Ltd.

Mr. R. Wood, Sales Manager, Elek Books Ltd.

Mr. R. Bailey, Sales Director,
Routldge & Kegan Paul Ltd.

Miss T. Sacco, Macmillan & Co., Ltd.

Mr. Adrian Phillips, Book Development Council

海外法律資料の集収について

西 村 捨 也

海外の法律資料は戦後、年を追って必要の度合が激増しているように思われる。戦前に比較してわが国の国際的関係が緊密を加え、わが国の法律そのものが英米法の継受を本格的に添加せられた。そのため明治以来の大陸法に偏した外国法の参考範囲が著しく拡大されてきたからである。法律実務はもとより、大学における法学教育が増長したことも与っていることが少なくない。

一口に外国法の資料と云ってもその範囲はもとより内容は複雑を極めている。最も効果的に海外の主要な法律資料を集めるのはどうすればよいか。これは大学の研究室や法律の実務機関に従う人々の重大な課題に相違ない。

それにはまず、一番基本的なものから順序をたてて慎重に資料の検討をしてゆかなければならない。それにはわが国の法制的立場から継受関係の深い外国法の基本資料を最優先とすべきは申すまでもない。このような観点から、法律資料を次のような3種に大別して順次、体系的に集収してゆくのが宜いと思うのである。

第1資料 法令集、判例集でいわゆる法源 (legal source) に該当する基本資料

第2資料 法律著作(単行書ならびに雑誌掲載論文)、第1資料を底本に用いた編纂物(例えば法律辞典、特殊法域の法例又は判令の註釈書など)

第3資料 基本資料を検索するためのツール (legal

digests and indexes)、法律図書目録、法律雑誌記事索引など

これらの海外資料は英米法(判例を主たる法源と考えるいわゆるコンモン・ローに基く法系)と大陸法(独仏などヨーロッパ諸国の成文法系)とに共通して収集の基準と考えられるであろう。

法律制度はもとより極めて歴史的、社会的な産物であるから、当面の実務からの判断では正しい資料の選択ができない。法源は数十年はおろか、ローマ法やゲルマン法の昔に遡及することも必要になってくる場合が少なくない。イギリスやアメリカの判例は百年以上のものが生きているのである。このような事実を具体的に把握しながら、膨大な海外の法律資料の中から緊要なものを選び出して収集しなければならぬ、このことは外国法の研究の第一段階として非常に重大なことである。

幸に、各種の法律関係の雑誌には英米独仏その他の主要国における法律資料につき、部分的には紹介や解説がそれぞれの専門家の手により執筆されている。ただ外国法の研究は当該国の基本資料によって直接に体得することが何より大切である。従って最もよい法律資料のテキストを刊行する海外の信用ある出版社のインフォメーションを常にキャッチしていることも忘れてはならない。

会 員 紹 介

情報化時代にふさわしく

(株)ユー・エス・エシアテック・カンパニー

私共ユー・エス・エシアテック・カンパニーの歴史は戦前にさかのぼり、昭和9年に現社長山川隆雄経営の山川商會に源を発しております。当時より第二次大戦による洋書輸入のと絶迄、世界最大の出版社マックグロウ・ヒル社の総代理店として、理工学図書を販売に従事致しておりました。戦後貿易再開と共に株式会社ユー・エス・エシアテック・カンパニーとして発足、以来、当洋雑誌書籍部門に加えて電子産業機器輸入部門と雑貨輸出部門を併せて現在に至っております。東京新橋に本社、又大阪、名古屋に営業所をおき、理工学図書、殊に定期刊行物の販売については会員諸氏の御協力もあり、全国的なネットワークを有しております。

当社は情報産業時代の到来をいち早く子見しデータバンク業に進出、コンピューターによる情報サービス業を行っており、急増する科学技術情報をより早く、正確にお客様に提供することを願って全員一丸となって社業に励んでおります。

洋書こぼれ話

1940年前後のこと——（その1）

丸善本の図書館長 八 木 佐 吉

前号につづいて1937年ごろのことを少しく記してみる。まず、デカルト方法論“Discours de la méthode”300年記念祭のこと：欧州近世哲学の祖と称せられ、中世哲学と啓蒙期哲学の間に毅然として立っているルネ・デカルトの不朽の名著 Discours de la méthode (1637年初版) が出版されて1937年は正に三百年に相当するため、デカルトを生んだ仏蘭西を始め、独逸、英国等欧州各地でその記念祭が催されたり又、記念文献が上梓されたりして思想界に懐古の情を湧起させた。それらの出版物の内主要なものは次の如きものであった。Oeuvres et lettres (Bibl. de la Pléiade, 85 fr.); C. Adams の Descartes; sa vie, son oeuvre (12 fr.); L. Brunschvicg 他十数氏共著の Études sur Descartes (30 fr.); J. Chevalier 他数氏の Autour du “Discours de la méthode” (Archives de philosophie, 13巻2号, 45 fr.); Discourses on Method Edited by L. Roth (Oxford Univ. Pr. 6s.); Dem Gedächtnis an Descartes. Hrsg. von C. A. Emge (Berlin).

丁度この稿を協会の寺久保さんにお渡しする間に岩波書店の「図書」に、デカルト縁りの記事があったので附記しておく。それは、本年（1969年）9月24日に仏文学者落合太郎先生が退官後の隠棲地伊東のお住いで逝去せられたとのこと。永らく奈良女子大の学長を勤められ83才のご高齢であられた由。先生はデカルトの訳本「方法序説」を岩波文庫の一冊として出版されている。

Le Corbusier の建築作品集が丸善の広告に出ているのをご紹介しておこう。L'oeuvre complète de Le Corbusier et P. Jeanneret, 6 tomes. 本集は8年程かかって完結した大冊である。当時の広告の解説書きの引用で説明にかえる。“近代建築界にコルビュジェの出現は、宛も絵画に於ける新らしきダ・ケンチとも云えようか、彼の業績はそれ自身独創的であると共に、世界にその影響を与へずには措かぬ力を持っている。その登場以来の全貌を伝え、新建築の黎明をつぐ”と。

Lin Yu-t'ang（林語堂）の著書：

リン・ウタンはこのころ中国のもつ最も著名な随筆家、また言語学者として広く知られていたことは今更、駁弁の

要はあるまい。1935年に My Country and My People をアメリカで出版して大評判をとり、わが国でも「わが国土・わが国民」の訳名で翻訳が出て、当時のベストセラーになったと憶えている。当時あたかも中国との紛争渦中にあったので、日本読書人に、中国のことを中国人の筆で伝えた重要な役柄も果していたわけである。1937年に、この原著の illustrated edition が新刊された。ニュー・ヨークの John Day の出版で \$3 であったが、この頃はもう \$=3 円となっていたらしく、今、当時の目録を見ると9円とある。序でにこの本の正鵠な紹介文と思うのでその頃の広告から抜き書きしておく。“……本書の如きものを書くには全く適材適処で、本書が成功したのも驚くに足りない。著者は支那の生活を見るに、外人の客観性をもってしている。とはいえ、外国育ちの支那人のやうに、支那の風物にたいして、全くの無知ではない。客観性と感受の接近との好ましいコンビがあり、著者の直覚的理解と文学表現の類なき才能は本書を素晴しくもまた、魅力あるものにした……” Lin Yu-t'ang はこの年また、Importance of Living (和訳：生活の発見) を同じく John Day 社から (\$3) で出版し、これまた相当に売れている。

木本高太郎林高梁博士が去る11月初めに逝くなられた。慶応大学医学部名誉教授林高梁先生は昭和初年にソ連のパブロフ研究所に留学され、パブロフ教授の新学説「条件反射学」を、わが学界に紹介された方であることはすでに一般の知るところであるが、先生のご逝去の新聞記事で思い起されることがある。林先生の訳著「パブロフ条件反射学：大脳両半球の働きに就いての講義」が三省堂から出版されたのは、たしか昭和12年頃のことと思う。その以前、1928年、1929頃にかけて Pavlov 原著の英訳本「Conditioned Reflexes」というタイトルがアメリカとイギリスで二種類出版されたのを輸入したことがあった。さて、この Conditioned Reflexes の意味がどうしても解らない。まあ、生理学の本には違いないとして医学と生物学双方へ分類しておいたことがあった。門前の小僧にはいささか難かしい学説であったのだから無理もない話ではあるが。こんなことを憶い出したので附け加えておく。序でに Ivan Petrovitch Pavlov (1849-1936) の英訳本のタイトルも書留させてい

ただく。

Conditioned Reflexes; An investigation of the physiological activity of the cerebral cortex. Tr. by G. V. Anrep. Oxford, 1927.

Lectures on Conditioned Reflexes; 25 years of objective study of the higher nervous activity (behavior) of animals. Tr. by W. H. Gantt. London, 1928. Lawrence. (これはのちに Allen and Unwin の発行となる)。

ロンドンの George Philip 社は1834年創立で、世界中の地図出版の老舗の随一といっても過言ではないと思う。この出版社で1910年代から出していた“Handy-Volume Atlas of the World”は手ごろな袖珍世界地図帳として、多年に亘って、年々相当数輸入されていた。しかし、何といっても版元がロンドンだけに英国と英国属領に詳しいことはいなめなかった。1937年頃に丸善で特別な注文をつけて“日本と東亜にも詳しい版”を要求して成功した。それが、第19版のハンディ・ヴォリュームアトラスの“日本版”となった。判型は10×15.5cm 布装で、96図及び解説ノートと統計96頁、102頁の索引付き ¥ 4.75, 大いに売り出したことを1937年の結びとしよう。

1937年以後は一日一日とけわしい世相となる。洋書の輸入も外国為替管理が段々ときびしくなってきた、充分な仕入れが難しくなってくる。内閣に情報局なる役所ができる。のちの言論統制機関である。しかし、一方では文化勲章の第一回授与があって、本多光太郎、長岡半太郎先生たちが栄誉にあずかっているような明るい制度の発足もあった。

1938年に邦文のミッチェル「風と共に去りぬ」が、大久保康雄訳で三笠書房から出版されて、たちまち大評判でベストセラーとなった。原版の“Gone with the Wind”はアメリカのマクミラン社で1936年に初版(\$3)が出た。当時の東京書籍商組合編の図書総目録を見て面白いことを見つけた。すなわち、翻訳小説の項に上記の三笠書房版「風と共に去りぬ」と並んで、同じくミッチェル原著、阿部知二訳「風に散りぬ」というのが河出書房版で載っている。書名と原著者から察して、恐らくは Gone with the Wind の訳であらう、それにしても、こう二つ並べて見ると本のタイトルが如何に読者にひびくものかが、よく判るような気がする。「風に散りぬ」はベストセラーにもならなかったであろうし、「風と共に去りぬ」は今に続くロングセラーのタイトルである。

核物理学のドイツ書で Einführung in die Kernphysik, von Dr. H. Kellman が Leipzig の Franz Deuticke 社から1938年に出版輸入された。理研の杉浦義勝博士の推挙の言葉“今日、原子核物理学は日進月歩の状態にあって、多くの新事実が次々と発見され……”とある。日本の原爆研究に幾分かの寄与をした本であろう。

テレビジョンというと戦後のこととお考えになる方も多いと思うが、1935年頃以降すでに欧米では television 関係の文献が随分たくさん出版されている。勿論その大半がわが国にも取寄せられた記録がある。また“テレビ”という日本語も当時すでに広告文中に散見されるので不思議な気がする。

この年には Eve Curie の Madame Curie がバリの Nouvelle Revue française から出版されてわが国へも早速輸入され歓迎された。これを川口篤が訳して「キューリー夫人伝」として間もなく白水社(?)から出たように憶えている。このころの名著の一つであらう。しかし、もうこの年度(1938)年ごろは、1月に「国民政府を対手とせず」の近衛声明、4月に入ると国家総動員法の公布と、次第に日本中が暗がりに入っていく、如何に名著名作であらうと一つの書物を大部数取り寄せることは難しくなってきた。何しろ、この年夏ごろには、自動車がガソリン使用禁止で、漸次“木炭車”と変わりお尻から煙を出していたのであるから、輸入制限は次々次々に厳しくなってきたのであった。

1938年3月ごろは円がいよいよ下落して1ドル平価2円が3円30銭、1ポンド10円が17円50銭、1マルク50銭が1円50銭と換算され、洋書は輸入制限に加えて非常に高価格になってきた。5月頃は文学、美術、娯楽書類はほとんど取り寄せ禁止になった。こんな状態は急速に進行して、同年夏ごろには、ますます一般統制が強化され、時局向き書物以外のものは不急不用書籍として全く禁輸されたと憶えている。丸善の「学灯」も Announcements も8月号から紙質が落ちてザラ紙となり、頁数も急に減ってきた。もっとも入ってくる洋書が著しく減少したのであるから用紙があっても頁数はへらさざるを得なかったわけである。苦肉の策か、苦しまぎれか、このころから両誌とも和書の掲載がふえてきている。また“長期建設に邁進する現下の我国の諸事情に鑑み、戦争経済に関する欧米の諸文献を宛順次掲載する……”として「学灯」の1938年11月号に“戦争経済書目”の第一回分のリストが6頁載せられている。こんな世相で1938年は暮れていったのである。

海外 ニュース

CCM が Cassell を買収か

Crowell Collier and Macmillan 社は、ロンドンの出版社 Cassell & Company, Ltd. の株の買占めに乗り出した。CCM のスポークスマンの言によれば、すでに Cassell 社の株の20%以上を取得し、他の60%の株主も買取りのオファーに同意しているとのことである。買収は1969年内には成立しないであろうが、540万ドルの現金が動くものとみられている。(Publishers' Weekly, 1969年11月24日号より) 一紀伊国屋書店提供—

ニュース

- 米 John Wiley 社 Mr. Robert B. Ellis 11月中旬来日。
- 米 The Time Mirror Company, Director of International Operations, Book Publishing Group, Mr. Nicolas G. Chantiles, 同 Director of Special Projects, Mr. James N. Perkins 及び Harry N. Abrams, Inc., Senior Vice President, Mr. Newton K. Pincus 11月中旬来日。
- 英 Collins-Publishers & Stationers の Mr. David C. Hays 11月下旬来日。
- 英 Irish Univ. Press の Marketing & Sales Director, Mr. George Prior 11月下旬来日。
- 米 Holt, Rinehart and Winston, Inc. の Chairman of the Board, Mr. Alfred C. Edwards 11月下旬来日。
- 米 McGraw-Hill Book Company の Chairman Mr. Edward E. Booher 及び Senior Vice President, International Division の Mr. Charles H. Sweeney 11月中旬来日。
- 米 Harper & Row, Publishers の Director, International Department, Mr. Robert E. Baensch 及び International Dept. Regional Manager, Asia-Japan, Mr. Robert C. Boettcher 12月上旬来日。
- 英 Frank Cass & Co., Ltd. の Mr. Frank Cass 11月中旬来日。

総代理店ご案内

丸 善 株 式 会 社

☎ 272-7211

Abelard-Schuman Limited Publishers, London, All Publications

Patent Law Review 1969

¥ 10,000

Securities Law Review 1969

¥ 11,400

(Sage Hill Publishers, Inc. / Clark Boardman Co. Ltd.)

三 省 堂 書 店

☎ 293-8119

Computer Assisted Mathematical Program (CAMP)

CAMP First Course

¥ 1,590

Teacher's Commentary

¥ 1,230

CAMP Second Course

¥ 1,510

Teacher's Commentary

¥ 1,140

CAMP Algebra

¥ 1,380

Teacher's Commentary

¥ 970

CAMP Geometry

()

Teacher's Commentary

()

CAMP Intermediate Mathematics

¥ 1,460

Teacher's Commentary

()

CAMP Advanced Mathematics

()

Teacher's Commentary

()

(Scott Foresman)

バウハウス基本文献の決定版

1,500部限定版

BAUHAUS

ハンス・ウイングラー編：MIT／造型社共同刊行

- 英文原書：本文及び図版 672ページ，カラー24ページ
- 日本語訳：テキスト及び図版解説350ページ
- 定価：¥18,000

先年ドイツ語版が出されてから、この本はバウハウス資料の基本文献として注目されてきましたが、このたびMITよりシカゴ時代の資料を加えた英語版の完本が刊行されました。

日本では、MIT出版部と造型社の共同刊行で、日本語訳付きがさる12月中旬小社（東光堂書店）より発売され、絶賛を博しています。

現代の複雑な課題にてらして、バウハウスの歴史的考察は、避けて通ることのできない問題になっています。東光堂は70年への最高の贈物として、自信をもって本書をおすすめいたします。

日本総代理店  株式会社 東光堂書店

103 東京都中央区日本橋通1-5 中内ビル
Tel (03) 272-1966~9 振替東京67687
550 大阪市西区京町堀2-93 京二ビル
Tel (06) 443-3004~6



昭和44年12月 通巻第32号 洋書輸入協会 編集者 寺久保一重
☎ 103 東京都中央区日本橋江戸橋1-15-5 藍沢ビル302号室 ☎ 271-6901
☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田町28 第一山中ビル ☎ 371-5329